

第1章 市 勢

1	位 置	• • •	1
2	気 象	• • •	2
3	地質・土壤	• • •	3
4	人 口	• • •	3

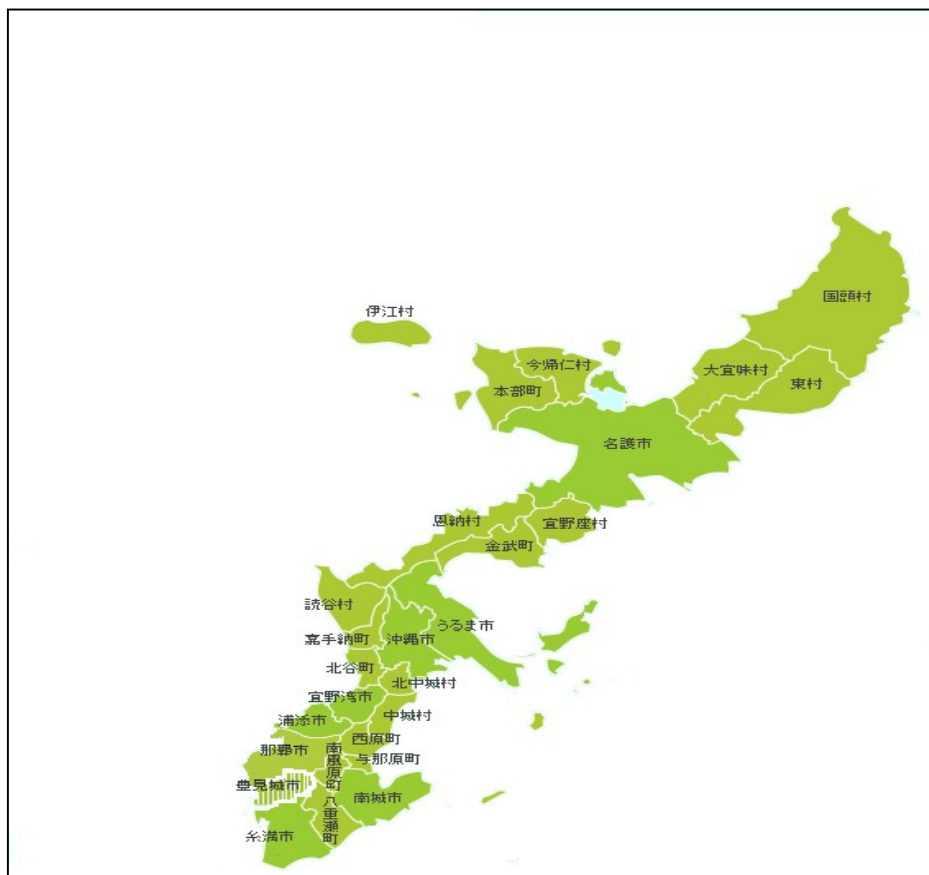
1 位 置

本市は、沖縄本島南部に位置し、北は県都の那覇市に隣接、東は南風原町、八重瀬町、南は糸満市に隣接しています。

方 位	地 名	経 度	緯 度	面 積
豊見城市役所	宜保一丁目1番地1	東経 127° 40' 52"	北緯 26° 10' 38"	19.34km ²
極 東	金 良	東経 127° 42' 50"	北緯 26° 10' 54"	
極 西	那覇空港第二滑走路	東経 127° 37' 52"	北緯 26° 10' 43"	
極 南	岡 波 島	東経 127° 38' 21"	北緯 26° 08' 29"	
極 北	漫 湖	東経 127° 41' 00"	北緯 26° 11' 54"	標高108.6m 標高0m
最高地点	平良（平城）	東経 127° 41' 19"	北緯 26° 10' 18"	
最低地点	海 岸 線			

統計とみぐすく 第12号 令和4年度版

※豊見城市役所の経度緯度については国土地理院データより



2 気 象

沖縄県は、琉球列島に位置し、黒潮の影響を受けるため四季を通じて温暖多湿で、亜熱帯海洋性気候特有の天候が多く、熱帯性、温帯性植物がよく生育する。5月～6月の梅雨時期と、台風の多い8月に多雨となる。大きな特徴としては、アジア季節風帯にあって、夏と冬の季節風の交替が顕著であることが挙げられ、5月～8月は南よりの季節風、10月～3月にかけては北よりの季節風が吹く。冬季大陸性高気圧の張り出す北よりの季節風時期には一般に小雨を伴う曇雨天が多く、南よりの季節風時期には晴天が多い。台風の主要進路に当たりその常襲地帯で、猛烈な暴風雨による被害を多く受ける地域である。

年	気 温 (°C)			平均湿度 (%)	年間降水量 (mm)	那覇への台 風接近回数
	平均	最高	最低			
平成27年	23.6	33.8	9.6	73	1425.0	4
平成28年	24.1	33.9	6.1	74	2368.0	3
平成29年	23.6	35.1	10.7	71	1907.0	2
平成30年	23.5	33.1	9.3	74	2469.5	9
令和元年	23.9	33.9	12.0	77	2637.5	3
令和2年	23.8	34.7	10.6	77	2481.0	3
令和3年	23.6	33.5	9.7	77	2485.5	5
令和4年	23.7	33.8	11.7	80	2996.5	3

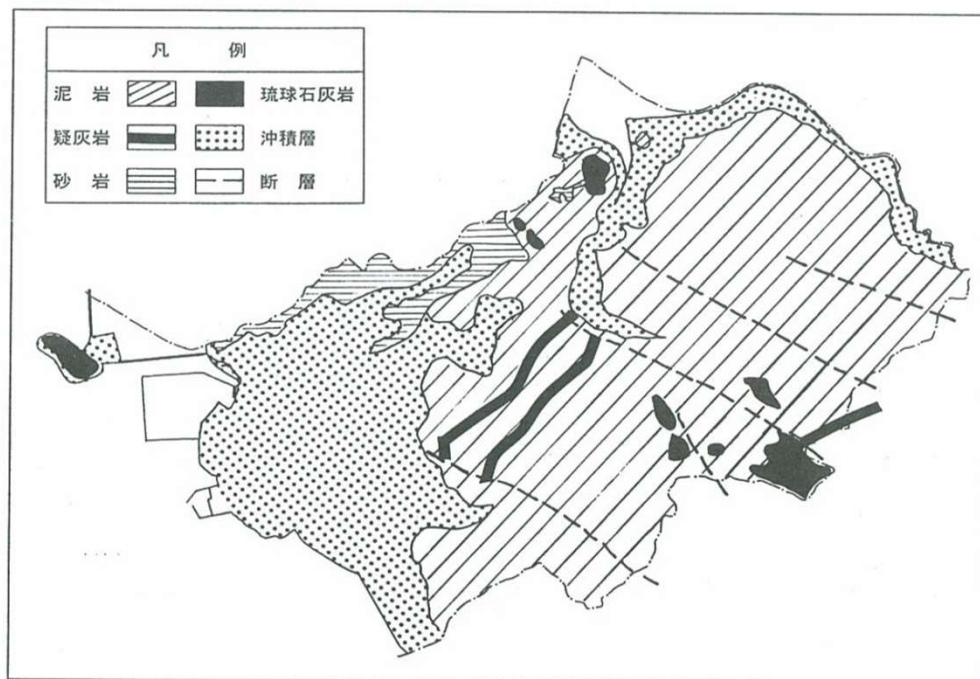
※気象庁、沖縄気象台公表データ参照

3 地 質 ・ 土 壤

地質は、丘陵域のほとんどを本島中南部一帯に広がる第三期の島尻層群が占め、琉球石灰岩が豊見城団地付近や、高嶺丘陵域の一部、豊見城城址付近に分布している。また、北西部の丘陵域から瀬長島まで、砂岩が広がっている。与根の低地一帯や、饒波川下流域は沖積低地となっており、特に与根の低地は約2kmの幅の広がりを持っている。

土壌は、島尻層群が風化したシルト質泥灰岩（ジャーガル）を主体に形成されている。その他にも我那覇、田頭、伊良波、上田には砂岩土壌、平良や高嶺の丘陵地にはサンゴ性土壌（島尻マーシ）、与根や翁長、饒波川、長堂川、国場川の沖積土壌は、丘陵域より運ばれた泥灰岩（ジャーガル）が堆積している。

地質図



豊見城市みどりの基本計画

4 人 口

令和4年 12月末現在	人 口 (人)			世帯数 (世帯)
	総数	男	女	
	65,954	32,297	33,657	

各年12月末現在 単位：(人・世帯)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
総人口	62,566	62,896	63,980	64,436	64,953	65,766	65,940	65,954
男	30,821	30,983	31,501	31,728	31,962	32,383	32,390	32,297
女	31,745	31,913	32,479	32,708	32,991	33,383	33,550	33,657
世帯数	24,125	24,522	25,255	25,753	26,475	27,289	27,676	28,033

豊見城市 市民課 資料